

このコーナーでは平戸で元気に頑張っている女性の皆さんをご紹介します

平戸のチカラ 生月婦人会

生月婦人会は、35歳～70歳までの230人の会員で、毎月、慰霊塔の清掃や古紙・アルミ缶などの回収をはじめ、年間を通してボランティア清掃や町内行事のお手伝いなどをされています。

Q生月婦人会の自慢、雰囲気は？

A 主に本部役員22人で活動していますが、みんな明るく、やる気十分！活動開始予定の30分前にはみんな集合し、準備が整っているほどです。

本部役員が主に活動していますが、会員の方もよく手伝ってくれるので本当に助かっています。

活動をしていく中で、今まで知らなかった生月の魅力を発見することができます。

この素晴らしい生月の魅力を皆さんにも知ってほしくて、まだ、婦人会に加入されていない人に声をかけ、おかげさまで、去年は28人が新たに加入しました。

Qどんなことにやりがいを感じますか？

A 慰霊塔の清掃やボランティア清掃、町内行事のお手伝いをしていく中で、自分たちの活動が町を支えているという実感がわき、やりがいを感じます。

Q楽しみにしていることはありますか？

A 毎年10月にグラウンドゴルフ大会を開催しており、この大会には婦人会を引退された方々も含め、約100人が参加し、親睦を深めています。また、福岡、大分、佐賀などにも日帰りで研修旅行に行っています。

Qこれからどのような活動をしていきたいですか？

A 今年は新たな活動として、健康体操を2回、押し寿司作り教室を1回開催したいと思っています。正会員は65歳までとなっていますが、70歳までの方にも準会員としてご協力いただいています。この方たちの力も借りながら、魅力ある婦人会活動を続けていきたいです。



▲回収した資源物を丁寧に選別



▲空き缶つぶしの様子



▲大量の段ボールを資源回収車へ

編集後記

人口減少が問題になる中、少子高齢化の波が押し寄せている。そこで注目されているのが女性の力である。これまでは家庭を守ることに中心だった主婦が、地元を守る重要な存在になろうとしている。自らの生活スキル、健康スキル、女性の地位向上のため、活動する婦人会の皆さまの力は偉大です。

早朝6時半から約4時間、空き缶つぶしや古紙回収などの作業を淡々と行い、この日は生月小学校4年生の生徒も参加し、空き缶つぶしを行いました。子どもたちはこの作業の大変さを身をもって体験しました。

また、子どもたちに「資源のリサイクルの大切さ」と「CO2排出ゼロ都市宣言の平戸市の取り組み」の説明も行った。生月婦人会の受け持つ役割は幅広い。

(井元宏二)

広報特別委員会

委員長	山崎 一洋
副委員長	池田 稔巳
委員	井元 宏三
委員	小山田 輔雄
委員	松尾 実
委員	山田 能新

編集・発行 平戸市議会広報特別委員会

平戸市岩の上町1508-3 TEL22-4111 FAX22-3427 e-mail:gikai@city.hirado.lg.jp

印刷 有限会社ケンホクプリント

平戸市議会だより



12

2018.8.1 発行

長崎県平戸市 議会だより

CONTENTS

■表紙 生月婦人会の皆さん

(生月支所前生月漁港にて)

■ここに注目(主な内容)

■常任委員会報告

■6月定例会で審議された案件

■市政を問う(一般質問 8人)

■視察報告

■平戸のチカラ(生月婦人会)

2 4 5 6 10 12

2018.8.1 発行
6月定例会
Number 58

とかいせん

渡海船

平戸市議会

検索



注目④ プロジェクト区分を7つに変更！

平戸市「やらんば！平戸」応援基金条例の一部改正について

平戸市未来創造羅針盤「第2次平戸市総合計画」（平成30～39年度）の策定に伴い、これまで「やらんば！平戸」応援寄附金（ふるさと納税）を財源として実施する事業を「輝く人づくりプロジェクト」「宝を磨き活かすプロジェクト」「ずっと住みたいまち創出プロジェクト」の3区分としていたものを、以下の7つのプロジェクト区分に変更しました。

1 きずなをつなぐプロジェクト【協働、地域コミュニティ、シビックプライドに関する取り組み】

◎重点的な取り組み 市民と地域、行政の連携による持続可能な集落形成の推進 など

2 しごとをひろげるプロジェクト【産業、雇用に関する取り組み】

◎重点的な取り組み 市内企業などの魅力度アップ・活性化に向けた支援の推進 など

3ひとをそだてるプロジェクト【子育て、教育に関する取り組み】

◎重点的な取り組み ICTを活用した教育や英語教育などの積極的な推進 など

4くらしをまもるプロジェクト【保健、医療、福祉に関する取り組み】

◎重点的な取り組み 地域医療体制の充実 など

5まちをつくるプロジェクト【定住・移住、自然環境、生活基盤に関する取り組み】

◎重点的な取り組み UIターン希望者などの受け入れ体制の整備と支援 など

6たからをみせるプロジェクト【観光、文化、シティプロモーションに関する取り組み】

◎重点的な取り組み 世界遺産構成資産の保全と活用 など

7ちからをつけるプロジェクト【行財政運営に関する取り組み】

◎重点的な取り組み 行政改革推進計画の着実な実施 など

総務厚生委員会での指摘

寄附申し込みの際、寄附者が使途を選択しやすい環境にすること。また、項目に追加は必要なのか検討を！

意見書 可決

30人以下の学級の実現と義務教育費国庫負担制度の堅持を求める意見書（要約）

地方教育行政の実情を十分認識され、地方自治体が計画的に教育行政を進めることができるようにするための措置を講じられるよう強く要請します。

平成30年6月20日

長崎県平戸市議会

（提出先）

内閣総理大臣、総務大臣、財務大臣、文部科学大臣

辻議員と田島議員が15年表彰を受賞

全国市議会議長会より、辻賢治議員（左）と田島輝美議員が議員在職15年以上の表彰を受けました。



6月定例会



ここに注目！



注目① 保健事業の評価向上に努めていく！

平成29年度平戸市国民健康保険特別会計補正予算（第4号）

総務厚生委員会での主な議論

Q 平成30年度から長崎県が国保の財政運営責任主体となったことで財政的不安は解消されるのか。

A 長崎県から保険給付に必要な費用が全額市町へ交付されることから、毎年の保険給付費が不足することはなくなり、短期的な国保財政の不安は解消されるものと考えます。

Q 県への納付金額より少ない支出（保険給付費）だった場合はどうなるのか。

A 翌年度以降に平戸市が県に収める納付金に反映され調整される。

市の今後の取り組み

今回の国保制度改革は、特定検診受診率の向上や医療費抑制の施策を行い、事業評価が高くなるほど特別交付金が多く入る仕組みであることから、保健事業の評価向上に努め、保険税の負担軽減につなげていきたい。



注目② 農地保全へ今後の課題！

平成30年度平戸市一般会計補正予算（第1号）中、「多面的機能支払交付金事業」

多面的機能支払交付金とは

農業・農村の有する多面的機能（国土の保全、水源のかん養、自然環境の保全、良好な景観の形成等）の維持・発揮を図るための地域の共同活動に係る支援を行い、地域資源の適切な保全管理を推進するための交付金。

産業建設文教委員会での指摘

今回、交付団体の活動中止に伴い、交付を受けた多面的機能支払交付金を返還することとなった。本事業は5年間継続する必要がある、それに満たない場合は、認定年度までさかのぼり、受け取った交付金を全額返還する必要がある。しかし、本事業は農地の保全等には必要な事業であることから、今後は活動組織の構成員が制度内容を理解し、活動が維持できるよう、これまで以上に指導を徹底するとのことであるが、今回の件を反省材料にして、今後に生かしていくように。



注目③ 人権意識を培う効果に期待！

平成30年度平戸市一般会計補正予算（第1号）中、「人権教育研究推進事業」

人権教育研究推進事業とは

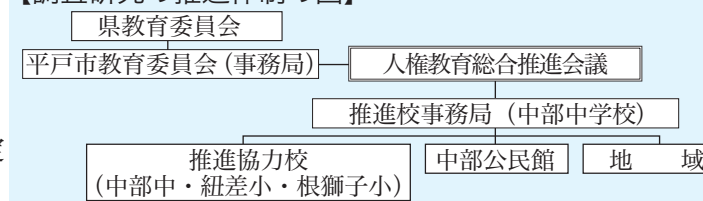
人権教育総合推進地域（中部中学校区）の実態等に応じた総合的な人権教育によって、人権意識を培い、一人一人を大切に教育の充実【調査研究の推進体制の図】に資する研究を実施。

3カ年の推進計画

平成30年度：実態の把握と課題の確認

平成31年度：研究の深化と追加の課題設定

平成32年度：研究のまとめと研究の継続



総務厚生委員会

■平成29年度平戸市一般会計
補正予算（第7号）

歳入（市税）

Q 市民税（個人、法人）、固定資産税ともに増額補正となった要因は何か。

A 景気回復傾向を背景とした給与所得者における所得の増と、営業所得の増が主な要因であると考えられる。

委員会での意見

次年度以降の施策を論議するためにも、より詳細な分析を行うべきである。

【財務部税務課】

浄化槽設置整備事業

委員会での意見

生活環境の向上のためにも補助率など再考して、多くの市民が利用しやすい制度となるよう検討すべきである。

【市民生活部市民課】



●各常任委員会へ付託された件数●

総務厚生委員会	・承認 1件
	・議案 5件
産業建設文教委員会	・承認 1件
	・議案 2件
	・請願 1件

●学校統廃合事業

Q スクールバスは、何年使用しているのか。

A 従来は10年で更新していたが、振興実施計画における企画財政課との協議により、今後は12年で更新することとしている。

また、スクールバスの使用に関しては、通学だけでなく、社会科見学などにも使用しており、走行距離も伸びているので、日頃から点検整備を行い、長寿命化を図っていきたい。

【教委教育総務課・学校教育課】

■平成29年度平戸市農業集落排水事業特別会計補正予算（第1号）

●施設管理運営事業

Q 施設管理運営事業で委託料を300万円減額しているが維持管理は大丈夫なのか。

A 平成29年度当初は、機能診断調査および最適整備構想策定経費として500万円を計上していたが、国から県へ割り当てられた本事業に関連する交付金が全体の要望額の38・5％に減額となり、機能診断調査の200万円のみ配分となった。

●新規採用保育士確保寄宿舎
借上事業補助金

委員会での意見

現行の要綱では補助対象が保育士個人ではなく事業所となっているため、活用し難いようである。

よって、要綱を改正するなど保育士確保につながる制度へ見直すべきである。

【福祉部こども未来課】



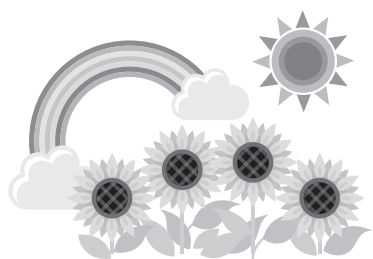
産業建設文教委員会

■平成29年度平戸市一般会計
補正予算（第7号）

●未来を創る園芸産地支援事業

Q 本市の振興品目であるイチゴについて、生産者の高齢化が進んでいるが、平均年齢はどのようになっているのか。高齢の生産者であっても補助事業による支援が必要ではないのか。

▶ 常任委員会報告



最適整備構想策定については、平成30年度に改めて国に要望し、4月初めに300万円の内示があつており、今年度中に実施する予定である。

Q 最適整備構想策定について、どういった方向性で実施する予定なのか。

A 機能診断調査の結果から、施設の長寿命化のための今後の対処工法や対処する時期を検討し、現施設の補修・改修等を計画的かつ効率的に実施するための構想をまとめ、今後どういった方向でこの施設を維持していくか考えていきたい。

【生月支所地域振興課】

■平成30年度平戸市一般会計
補正予算（第1号）

●生月町中央公民館移転改修事業

Q 生月町中央公民館の今後の予定と用地はどのようにするの。

A 当施設は老朽化が進行しており、平成31年度に解体設計、平成32年度に解体工事を実施する予定である。

用地については借地であつたため、解体後は地主に返還する。

【教委生涯学習課】

6月定例会で審議された案件

報告番号	件名	結果
5	株式会社生月ウィンドエナジーの経営状況を説明する書類の提出について	報告済
6	株式会社田平風力発電所の経営状況を説明する書類の提出について	〃
7	平成29年度平戸市一般会計繰越明許費繰越計算書の報告について	〃
8	平成29年度平戸市工業団地事業特別会計繰越明許費繰越計算書の報告について	〃
9	平成29年度平戸市交通船事業会計継続費繰越計算書の報告について	〃
承認番号	件名	結果
1	専決処分の承認を求めることについて	承認
議案番号	件名	結果
57	平戸市税条例等の一部改正について	原案可決
58	平戸市都市計画税条例の一部改正について	〃
59	平戸市「やらんば！平戸」応援基金条例の一部改正について	〃
60	平戸市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について	〃
61	平戸市教職員住宅条例の一部改正について	〃
62	平成30年度平戸市一般会計補正予算（第1号）	〃
請願番号	件名	結果
1	30人以下の学級の実現と義務教育費国庫負担制度の堅持を求める請願書	採択
議案議番号	件名	結果
2	30人以下の学級の実現と義務教育費国庫負担制度の堅持を求める意見書	原案可決

●新部局長の抱負と課題は



松尾 実議員

Q 平成30年度の新たな組織改編で、新部局長が人事配置されたが、市長の新局局長に対する期待は。

A 市長

市長の専権事項として、熟慮の上で、適材適所を念頭に、事業推進力、職場環境把握、指導力と管理者能力等を勘案して人事配置をした。

Q 北松北部クリーンセンターのゴミの休日受け入れについては、3・4月は引越シーズン、8月はお盆前など、需要は多岐にわたり、要望も多いと思うが、毎月でなく隔月でも休日受け入れをするのが市民サービス向上には必要ではないか。

A 市民生活部長

一般のごみの持ち込み件数、搬入量が増加している。休日受け入れの見直しについては、コストや他の課題も含め、松浦市、環境組合と前向きに協議検討する。

Q 第2次平戸市総合計画（平戸市未来創造羅針盤）がスタートしたが、財務部長としてどのような考えか。

A 財務部長

●原発「同意権」、日本原電が周辺自治体にも認める
黒田市長は求めず、市民の声も聞こえず
●レストハウス、佐世保カジノについて



山崎 一洋議員

Q 日本原子力発電が水戸市など、30キロ圏の5つの市と安全協定を結んだ。東海第2原発の再稼働の際は、立地自治体の茨城県と東海村に加え、周辺5市の「同意」を得るという内容だ。この協定を全国の多くの自治体が評価し、電力会社に対して「同意権」を求める動きが広がっている。

平戸市も「同意権」を求めるべきだが、専門的知見がないという理由で求めている。多くの市民が「同意権」を求めるべきだ、と言っている。市長自身が市民の声を聴く場を設けるべきだが、どう考えるか。

A 市長

原発の専門的知見がなければ、「同意する、しない」の判断はできない。「市民の声を聴く場」を設けたら、判断する能力がないのに、何でもそんなことを聞くんだと、言われかねない。

Q レストハウス検討委員会が建て替

えという最終報告を出した。しかし、建て替え反対の市民からだけでなく、賛成の市民からも大きな批判を受けている。なぜか。スタートが間違っていた。ビフォーアフターというテレビ番組に乗って、リフォームしようという思いからのスタート。

地方自治体の仕事の第一は、住民の命と暮らしを守ること。思いつきからではなく、住民の願いから出発しなければならない。

レストハウスについても、市長自身が、市民の声を聴く場を設けるべきだが、どうか。

A 市長

検討委員会は、議会の声で設置した。議会軽視になるので、市民の声を聴く場は設けない。

Q 国民の多くがカジノ反対だが、政府は法案を、強行しようとしている。佐世保市にできれば、ギャンブル依存症、多重債務問題の拡大、風俗や環境の悪化、青少年への影響など、平戸市民にも大きな影響がある。

カジノについて、どう考えているのか。

A 市長

反対することはないと考えている。

市政を問う！

平成30年6月定例会、8人の議員が一般質問に立つ（文責は、いずれも本人）

●平戸市の未来を担う子どもたちへの教育に対する方針と理念
また、教育現場での課題を問う



池田 稔巳議員

Q 平戸市の未来を担う子どもたちへの学校教育は重要である。どのような方針と理念があるのか。

A 市長

平戸市においては、人材育成こそがふるさとを支える要であると考えている。誰もが安心して子どもを産み育てられる環境を目指し、家庭・学校・地域社会が連携した子育て支援の体制づくりが重要だと考えている。

Q 報道等でもあるように、学校やSNS等でのいじめ問題が起きているが、平戸市の現状はどうか。

A 教育長

昨年度は小学校で6件、中学校で10件あった。各事案とも長期化、深刻化することなく、全て問題解決に至っている。また、教育委員会等にホットラインを設けたり、平戸市いじめ問題調査委員会条例を制定しており、重大事態にならないように対処している。

Q 小学校で道徳と英語が教科化されているようだが、期待するものは何か。

また、教科化に対応した教育現場での指導力は追いついているのか。

A 教育長

道徳においては、社会性とか人間としての評価軸、人を尊敬する思考力養成等の人間力形成が期待される。英語は、グローバル化社会に対応していくためには必要な教科である。

ただ、正直言って、まだ、十分な指導ができる教職員が配置されている状況にない。

今後研修や指導を通して教育の充実を図っていききたい。

Q 私は常々、幼年期教育が大事だと考えている。

A 教育長

平戸市の文化や歴史を幼年期から中学校まで、年齢に応じて理解できるように指導本を作り、全市の子どもたちが共通の知識と郷土愛を持てるような、独自の平戸愛学習指導要領が作れないか。

特色ある平戸ならではの教育を真摯に検討させていただきたい。

●世界遺産登録および（仮称）平戸観光交流センター（レストハウス）の整備方針は



小山田 輔雄議員

Q 世界遺産登録は、本市の新たな観光政策の元年でもあり、今後の取り組み、市長の思い、考えを問う。

A 市長

登録は単なる到達点でなく、観光および関連産業振興の起爆剤と捉え、市政推進と発展に繋げたい。

Q 外国人観光客の現状は。

A 文化観光工部部長

平成29年観光統計によると1万5,043人の外国人観光客が訪れ、昨年より1,249人、7・7%減少している。しかし、韓国からの観光客は5年前より約200%増え、キリシタンツアー目当ての観光客が年々増加しているのではないかと分析している。

Q 10年前、12・3%だった欧米からの観光客が、昨年、2%に減少している現状をどう分析しているのか。

A 文化観光工部部長

欧米に関しては、詳しい分析をしていない。

Q 世界遺産登録で、外国人観光客

が増加し、対応が求められている。

A 文化観光工部部長

外国人観光客の対応は、留学生の活用で、長崎県立大学、長崎国際大学と連携協定を結び、福岡の大学とも連携し、留学生も含んだインターシップを受け入れている。

Q イベントの企画運営に、市民の方々と連携を図っていくのか。

A 文化観光工部部長

登録記念セミナーの開催。月1回、島の館と春日集落のバスツアーの運行。中江ノ島や春日集落を船でめぐるクルーズなどを計画。

Q 世界遺産の重要性は、教会群の建物の価値だけでなく、潜伏キリシタンが220年間迫害に耐え、「信徒復活」を果たし、信仰の奇跡と評価、この点を踏まえ企画等が必要である。世界の名画に成り得る映画作成を働きかけてみてはどうか。

A 市長

厳しいが、著名な監督等から「口ケ地」と申し出があれば協力する。

Q レストハウスを観光の拠点に、地元の大工・左官さんの活躍の場を。

A 文化観光工部部長

関係機関と十分検討する。

●ごつする定員適正化



近藤 芳人 議員

Q 本市は定員適正化計画により職員数を着実に減らしている。狙いは理解するが職員の負担は増え、同時にサービス削減は増加している。今後に向けてどう考えるか。

A 総務部長

業務ごとの質および量を分析し、多様な任用制度の活用、外部委託、まちづくり協議会の育成による協働社会の実現およびICTの活用等を積極的に進めたい。

Q 業務を抜本的に簡素化するアプローチは手つかずだったと解す。優れた方法論の調査、検討を行うべしと提案してきたが。

A 総務部長

怠っていた。今後先駆的な情報を収集し、実施に向け努力する。

Q 非正規職員は長期に同じ部署にいられない。一定の技術を身につけた頃に退職（または異動）する。新人をまた一から指導する負担も含め大きな損失である。人材派遣会社を作り、経験を積んだ人たちを派遣する形にはどうか。

A 総務部長

問題は認識する。検討したい。

Q 外部委託化を推進すべし。過去に①地域包括支援センター②市営住宅管理を外部委託化するべきと提案した。その後検討は。

A 福祉部長

①地域包括支援センター運営協議会で協議していただき方向性を決定したい。

A 建設部長

②県内で指定管理者制度を導入している長崎、佐世保、大村市の調査を基に一社に見積もり依頼を行なった。今後、実績のある業者にも見積もりを依頼し検討を進める。

Q 税金、保険料、使用料等をクレジットカード収納すれば、債権回収業務はカード会社がやってくれる。滞納対策も同様。

A 総務部長

大いに検討すべきだと思う。

Q 極端に忙しい時期がある部署の負担分散が望まれる。

A 総務部長

申告および賦課決定時の税務課、年度末年度初めの市民課など繁忙期には余裕がないこともある。異動時期も含んだ柔軟な人事管理について整備していきたい。

●人口減少対策について
●レストハウス建設の意義について
●生月の最終処分場の問題



井元 宏三 議員

Q 平戸市として人口減少対策における政策はどのようなことをやっているのか。

A 市長

市民が地域に誇りと愛着を持ち、「ずっと住み続けたい」と思える町の創出を図り、市外の方が「住んでみたい」と思える町を実現するため「1次産業における雇用の促進」「6次産業化による産業の振興」「子育て支援」「移住・定住者の住宅取得、改築時の補助や引っ越し費用支援」等の政策を柱とする人口減少抑制の強化に取り組んでいる。

Q 現在の平戸市の政策である公共施設の適正化と整合性を考えた上で、レストハウスの建設と観光協会が同施設に拠点を置くことに意義があるのか。

A 文化観光商工部長

建物の老朽化や利用者の利便性など、既存施設の問題点を考慮した上で、市として整備が必要と判断して

いる。観光協会も既存のまま存続させるのではなく、職員の育成や、年中無休の施設運営、平戸版DMOを組織化することで、平戸観光のグリードアップを図ることを目的としている。

Q 生月町最終処分場の問題で、地元との受入れ調整が難航している理由は何か。受け入れ合意ができない時はどうなるのか。

A 市民生活部長

既に地元から飛灰の受け入れに関する合意は得ているが、地域振興策の点で合意に至っていない現状である。市外に飛灰を搬出すると、高いコストがかかり市民への負担も多くなることから、安全対策等も講じながら、早く地元と合意に至るよう努力していく。



【生月町最終処分場】

市政を問う！

平成 30 年 6 月定例会、8 人の議員が一般質問に立つ（文責は、いずれも本人）

●平戸市総合計画実施計画の取り組み状況および各種施策の取り組みについて



松本 正治 議員

Q 実施の年度に入っている平戸市総合計画実施計画の事業種別、財源地域などを検討して計画、実施している総括的な方針について尋ねる。

A 市長

平戸市総合計画実施計画は、第2次平戸市総合計画の基本構想の3つの方向性を基本に推進していきたい。7つのプロジェクトにつながる基本計画では、成果指標（やるべき指標）を示し、その具体的計画が実施計画であり、3年度間の事業について、毎年度ローリングを行い、精査を重ね計画を計上している。

計画計上においては、各地域や団体等の要望・陳情等を考慮しながら、事業の必要性と効果について検討を重ね、各種計画に計上する。年次の事業配分についても財源的な調整を図り、関係省庁等の配分動向を見定めながら事業実施する。

また、地域づくりプロジェクトとして市内7地域について掲げており、それぞれの独自性や優位性を生

かした事業推進を図るための重点的な取り組みを、地域の皆さんと意見を交わしながら行政と一体となって考えていく。

Q イニシャルコストおよびランニングコストの捉え方について。まず、初期投資については、国・県の補助、あるいは有利な起債事業があるかが大きな要因になる。

A 副市長

また、ランニングコストについては、一般財源が主になると思うが、イニシャルコストおよびランニングコストの捉え方について、再度、細かく尋ねる。

A 副市長

イニシャルコスト、つまり、投資的経費を伴う事業の実施については、効果、活用度、要求度、緊急性、後年度負担等や、補助事業、交付税措置の手厚い起債の充当など、市の負担軽減等を総合的に検討して計上、実施している。

ランニングコストについては、一般財源充当がほとんどであることから、将来の負担とならない施設管理を検討し、長寿命化による更新費用の抑制を図りたい。事業実施に当たっては、イニシャル・ランニングを含む、ライフサイクルコストを考えていく必要がある。

●公共施設の維持（管理）・補修費等予算の重要性と位置付けは
●人口減少対策としての両輪である雇用と人材確保の具体策は



山内 政夫 議員

Q 高度成長期にたくさん公共施設が設置され、その耐用年数到来や老朽化対策が問題となっている。平戸市においても、今後、公共施設事業は、新設から維持補修事業に重点が移っていくことが予測されている。

A 市長

改めて維持補修事業の重要性を確認し、真剣に取り組んでいく必要がある。そこで、予算措置を含めて、所見を伺いたい。

A 市長

施設を長く賢く使う視点で、地域実情に応じた集約・複合化等を行い、公共施設の適正化を進めている。平戸市公共施設等総合管理計画では、更新費用40%削減を目標に設定している。

現在は担当課のみで維持補修・管理・更新計画を行なっているが、総合的、一元的に管理する体制の構築が必要で、これを整備していきたい。
Q 現在積み残されている地域住民

からの事業要望について、例えば50件程ずつリストアップして1セットとし、これに名称を付けて、セット名事業として実施する方法を提案する。

A 市長

事業を施工する場合は、技術者が設計し、安全確認をする工程があるので、人的スタッフがどれだけ本庁にいるのか等の問題もある。

A 副市長

今定例会終了後に、私を本部長とする「地域人材の育成確保に向けた推進本部」を立ち上げたい。

Q 若者の地元定着促進策として重要な「不安を解消する視点」から「奨学金返還支援制度」を本市でも検討してもらいたい。

A 副市長

施策の中で、どれが一番有効か、会議等を通じ、本部の中でも検討したい。

議会広報特別委員会

手にとって読んでみたくなる

読みやすく、分かりやすい議会だよりを作成するために

福岡県三井郡大刀洗町議会
熊本県上益城郡御船町議会

●視察目的

議会だよりの編集・発行等について

●主な視察内容

【大刀洗町議会】

①発行回数（発行部数）
年4回（各5千部）

②委員会構成等
議会広報常任委員会

委員数5人（任期…4年）

③大刀洗町議会だよりの特長
文字を詰め込みすぎず、見出し、写真、表、余白のバランスが適切にとられている。

また、新聞のように分かりやすく簡潔な見出しをつけ、中身を読んでみようと思わせる仕掛けづくりがされている。

④特徴的なコーナー
追跡調査（一般質問で市長などから検討すると回答があったもの

を追跡調査）、議会報告会の議会からの回答、住民の議会に対する思いを掲載など。

⑤課題解決のための取り組み
編集作業の効率化、円滑な引き継ぎのために、編集マニュアル、デザインフォーマットの整備を進めている。

また、おもしろい議会だよりを目指し、住民意見の反映と提言、検証のサイクルを模索している。

【御船町議会】

①発行回数（発行部数）
年12回（各6,770部）

②委員会構成等
議会広報編集特別委員会

委員数6人（任期…4年）

③御船町議会だよりの特長
平成22年3月議会で通年議会の盛り込んだ議会基本条例を制定。これに伴い、議会だより「あおぞら21」も同年6月より毎月発行とし、最新の議会活

動状況を町民に説明するとともに、町とは異なる視点も交えた町政の政策課題等を提示している。

④特徴的なコーナー
裏表紙に議会への意見を寄せてもらった「人」のコーナー、マンネリ化させないため、特集を組むよう努めている。

●研修を終えて

平戸市の議会だよりは、全体的に文字が多く、適度な余白を取



【大刀洗町議会広報委員の皆さんと】



【御船町議会での視察の様子】

っていないため、内容が良くても、読んでみようという思いにブレーキがかかってしまうのではないかと、掲載する内容を十分吟味し、シンプルにお知らせすることが重要であり、写真、図、表などを効果的に入れることで記事に説得力が出てくることご意見をいただいた。

今回の視察で学んだことを生かし、手にとって読んでみたくなる、読みやすく、分かりやすい議会だよりの作成に努めていく。

議会運営委員会

ICT（※1）技術を活用した議会の在り方、

予算審査の在り方、議会報告会の開催について検討



（※2）タブレット端末とは

タッチパネル式パソコンの一種。無線通信機能を備え、通信やインターネットの利用ができる。

岐阜県美濃加茂市議会

●視察目的

議会ICT（タブレット端末）（※2）導入について

●主な視察内容

美濃加茂市議会は、多様な情報の保管・共有が図れるタブレット端末を平成30年2月定例会より本格導入し、議会および議会活動の効率化を高め、議会と市民が身近となる開かれた議会を目指している。

導入効果として、膨大な資料をタブレット端末一台で持ち歩け、いつでも参照できること。また、最新の行政情報等をデータで受け取ったり、各議員への連絡が一斉に行えるなど、利便性や効率化につながることもあった。

ペーパーレス（資料等の電子化による紙の節約）化については、これから本格的に行なっていきたいが、どこまで各議員が受け入

れてくれるか、また、運用規定等の未整備が今後の課題であるとのことであった。

●研修を終えて

ICT技術の進歩は目覚ましく、さまざまな分野で活用が図られている。全国の市議会でも導入が進みつつあり、本市議会においても、議会運営、議員活動の充実・強化のためにも、ICT技術の活用について検討していきたい。

岐阜県瑞浪市議会

●視察目的

議会運営（予算決算委員会・議会報告会）について

●主な視察内容

瑞浪市議会は、予算・決算に係る審査について、各常任委員会への分割付託を解消するため、平成29年3月定例会より常任委員会として予算決算委員会を設置している。

予算決算委員会は、全議員（15人）で構成され、分科会方式は採用せず、全議員が議場で一堂に会して審査を行なっている。そのため、審議が長時間に及ぶことがあり、集中力を保つことが難しいという課題を抱えているとのことだった。

また、議会報告会については、開催に至るまでの経緯および目的、開催方法等について視察した。報告会での参加者からの意見

については、議員が意見を記録し、議会のホームページや議会広報紙に意見、回答を掲載するなど、議会運営に生かしていくようにしていた。

●研修を終えて

予算審査における複数委員会への分割付託や議会報告会は検討が必要な課題のひとつであるが、方法や効果についてはさまざまな議論があることから、今回の視察を参考にさらに検討していきたい。



【美濃加茂市役所前で】



【瑞浪市議会での視察の様子】

平戸市議会だより

2018. 8. 1発行

平戸市議会だより

2018. 8. 1発行